

海星だより

第1号 平成25年 4月

広島県立大崎海星高等学校

<http://www.osakikaisei-h.hiroshima-c.ed.jp/>

○第16回入学式（4月8日）

うららかな春の日差しの下、第16回入学式を挙行了しました。本年度は、24名の生徒が新たに大崎海星高校に入学しました。式では、関本校長が新生に対する激励の言葉として、三つの願いを伝えました。一つ目は自ら進んで学ぶこと、二つ目は大崎海星高校の校訓である「自主・自律・創造」を常に心に留めておくこと、三つ目は人の気持ちを理解し思いやりのある人間になることです。この言葉を受け取った24名の生徒は皆、初々しさの中にもどこか誇らしさを感じる表情をしていました。式にご来場くださった来賓の方々や保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。



PTAの泉会長より温かい励ましの言葉をいただきました。



新生を代表して上家さんが「学校の決まりを守り、心身を鍛え、勉学に励む」と宣誓しました。

○社会人講話（3月14日）

郷土史研究家の金原さんを講師としてお招きして、大崎上島の歴史に関する講演会を開催しました。2月14日にも同じように講演していただきましたが、今回はその続きとなる話を聴きました。三大飢饉や参勤交代といった歴史上の出来事と島の関係や、造船業の最盛期など、今まで知らなかった大崎上島の歴史を生徒は興味深そうに聴いていました。



プロジェクターを用いて説明していただきました。

○新3年生対象勉強会（3月27～29日）

3日間にわたって、新3年生対象の勉強会を開きました。これは受験生としての自覚を養うとともに、自ら進んで学習する習慣を身に付けるために行ったものです。勉強会では講義と自習時間を繰り返し設け、生徒の学習リズムの確立に努めました。新3年生は私語一つせず、一日9時間に及ぶ学習に励みました。



3日間集中を切らさずに勉強しました。

○「しまのお博」事務局の看板を書きました。（4月1日）

広島、愛媛両県が共催する博覧会「瀬戸内しまのお2014」の実行委員会事務局の看板を、本校3年生の鼻戸瞳美さんが書きました。事務局の方々からは、若者らしくのびのびとした字ですばらしいと絶賛をいただきました。このことは、本人にとって大きな誇りと喜びにつながりました。なお、中国新聞をはじめ新聞各紙でも取り上げられました。リンク先 <http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201304020058.html>



○交通安全教室（4月17日）

竹原警察署の職員の方々をお招きして、本校視聴覚教室にて交通安全教室を開きました。自転車に乗る人も加害者になりうるということを、VTRを交えて生徒に解説していただきました。普段何気なく乗っている自転車の危険性を、生徒は心に刻みこんでいました。今後も、交通ルールやマナーに関する指導は継続的に行っていきます。



○部活動報告

弓道部 平成24年度第6回定期地方審査（級位の部・段位の部）【3月31日】

1・2年生4名が級位、初段、弐段をそれぞれ受審しました。結果は次の通りです。

弐段位 福本瑠美（2年） **初段位** 古元里奈（1年）

1級位 秋光智喜（2年）

審査を通して、己を振り返り、心技体にさらなる磨きをかけていきましょう。

なお、今回の段級位審査受審をもって、本校弓道部の平成24年度予定の全活動が無事終了しました。応援して頂きました方々、保護者の皆様方、関係者各位に感謝申し上げます。

茶道部 卒業茶会【3月17日】

平成24年度の最後の活動として、卒業生を送る茶会を行いました。在校生は、卒業していく先輩との思い出を一つ一つ噛み締めながら、お茶を点てていました。

